

第39回白根ロータリークラブ杯争奪中学生野球大会活動報告

清々しい青空の下、令和元年8月11日（日）午前8時から、白根野球場と白南中学校グラウンドを大会会場とし、予定通り表記大会を開催することができました。新潟市南区長、渡辺稔様（南区役所地域総務課課長補佐、藤村修様が代理）を始め、新潟市教育委員会、南区スポーツ協会、南区野球連盟、参加中学校の監督・関係者の皆様、そして猛暑の中応援してくださった保護者の皆様など、多くの皆様よりご支援・ご協力をいただき、本大会を無事開催することができました。

当中学生野球大会は、7月の県大会が終了して3年生が引退し、1, 2年生の新チームとしての初めての大会で、新たなチーム編成の確認や、個々の選手の新たなポジションの適正の把握や力量を確認することができる最初の大会という位置づけとなっております。

また昨今の少子化、更には野球人気の低下に伴った部員不足により、1校では9人揃わない中で、他校と合同チームを編成しなければいけない特殊事情の中での試合となり、秋の新人戦に向けて生徒らが1つのチームとして纏まるための、一つのマイルストーンとなりうる大会でもあります。

出場校は、南区内6校（白根第一、白根北、白南、臼井、味方、月潟）と西蒲区2校（潟東、中之口）の計8校にお声がけをしておりますが、臼井と月潟が合同チーム、潟東に至っては、赤塚と岩室の3校合同チームということで、計7校のトーナメント戦となりました。





開会式では、白根ロータリークラブ田邊肇会長の挨拶に始まり、藤村修南区地域総務課課長補佐の激励の言葉、審判長より試合上の注意点をいただき、最後にはトーナメント1番くじを引いた赤塚・岩室・潟東チームのキャプテンによる選手宣誓がありました。

第1試合開始前は恒例の始球式。白根野球場では田邊会長とドイツからの短期交換学生のリンダ・フラウツさんによる大会初の二人同時の始球式。白南中学校グラウンドでは田伏幹事による始球式が行われました。

チームの完成度やレベルの差も見られ、大差で決着する試合もありましたが、見応えのある拮抗した試合も見られました。勝ち抜いて決勝に進んだチームは、赤塚・岩室・潟東合同チームと、月潟・臼井合同チ

ーム。合同チーム同士の決勝は、大会初となります。

優勝は赤塚・岩室・潟東合同チーム、準優勝は月潟・臼井合同チームとなりました。潟東は昨年に引き続き2連覇となります。



今大会では熱中症になる関係者はおりませんでしたが、1回戦での本塁クロスプレーで走者が小指を骨折するという、残念な事故がありました。このような事故が起きないよう、来年は注意喚起していきたいと思います。

また当大会では、白根ロータリークラブに審判への給水ボランティアをお願いしておりますが、今大会から二墨墨審に、白根高校野球部3年生にボランティアを依頼しました。白根高校とはインターラクターボランティア結成に向けて動いており、今大会がその布石となります。

来年も8月10日（祝日）に本大会を開催する予定です。

